

V. 保育士課程（子ども支援学科のみ）

【保育士課程とは】

本学の保育士課程では、保育・幼児教育に関する幅広い知識を備え、認定こども園化が進むなかで、新しい動向にも対応できる保育者、家庭や地域における子育て支援もできる真の保育・幼児教育のプロを育成することを目標としています。

保育士は、児童福祉法第18条の4に基づき、都道府県知事の登録を受け、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者とされ、一般に保育所など児童福祉施設において子どもの保育を行うことを職務内容としています。

保育士資格は、保育士試験に合格するか、厚生労働大臣の指定を受けた「指定保育士養成施設」を卒業することで得ることができます。人間開発学部子ども支援学科は「指定保育士養成施設」に指定されています。子ども支援学科で保育士資格を得るためには、保育士課程に登録し、課程で定められた科目をすべて修得して卒業することが必要になります。

さらに、保育士として働くには、都道府県知事に対し登録申請手続きを行い「保育士証」の交付を受ける必要があります。

【履修上の注意】

1. 本課程は、人間開発学部子ども支援学科生のみが受講することが出来る。
2. 諸手続き及び伝達事項等については、教職・資格課程掲示板に掲示する。

【履修手続】

1. 履修登録
履修登録の際、「教職・資格」の選択画面で「保育士」をチェックし、各自が履修する保育士課程の科目を選んで、指定された期間に登録しなければならない。
2. 課程費納入
保育士課程を受講するには授業料の他に「課程費」が必要である。納入時期は1年後期及び3年前期を予定している。定められた期日までに、証明書自動発行機で納入すること。納入期日・金額等については掲示する。

【保育士登録の手続き（保育士証の申請方法）】

1. 一括申請
本学では、4年次生で卒業時に保育士課程の所定の単位を修得出来る見込みのある者を対象に、大学が一括して保育士登録機関・登録事務処理センターへの登録申請を行う。登録されるのは、申請書提出時点において、申請者の住民票のある住所地の都道府県である。一括申請を希望する者は、ガイダンスに出席し所定の手続きを行う必要がある。この場合、卒業後の4月上旬に「保育士登録済通知書」が登録事務処理センターより郵送され、5月から6月に「保育士証」が交付される。
2. 個人申請
個人で保育士登録を行う場合は、各自で保育士登録機関・登録事務処理センターに申請手続きを行う。「保育士登録の手引き」を入手した後、指定保育士養成施設卒業証明書の発行をたまプラーザ事務課もしくは教務課に申請すること。

【保育士課程における本学での授業科目及び履修方法】

保育士課程の授業科目は児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に定められています。法令上修得することを必要とする最低修得単位数を基に、本学での具体的な履修方法及び授業科目について記します。保育士資格を取得するためには、表A～Cのとおり単位を修得しなければなりません。

表A 教養科目（必修）

告示による新科目			本学で開講する科目					共通教育科目における科目区分
系列	新科目	設置単位数	授業科目名	開講学年	単位	履修方法	授業形態	
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	神道と文化	1	2	必修	講義	國學院科目群
			法学（日本国憲法）	1	2	必修	講義	シチズンシップ科目群
			コンピュータと情報Ⅰ	1	2	必修	演習	STEM系科目群（データサイエンス）
	外国語	2以上	英語Ⅰ	1	2	選択必修 1科目 2単位	演習	言語スキル科目群（英語）
			英語Ⅱ	2	2		演習	言語スキル科目群（英語）
			英語Ⅲ	1	2		演習	言語スキル科目群（英語）
			英語Ⅳ	1	2		演習	言語スキル科目群（英語）
			英語Ⅴ	1	2		演習	言語スキル科目群（英語）
	体育	講義1	スポーツ科学論	1	2	必修	講義	ライフデザイン科目群（スポーツ科学）
		実技1	スポーツ実技A	1	1	必修	実技	ライフデザイン科目群（スポーツ科学）
10単位以上履修			合計必修単位数 11単位					

※クラス指定等ある場合には、原則、その科目を履修すること。

表B 必修科目

告示による新科目				本学で開講する科目				
系列	新科目	授業形態	設置単位数	子ども支援学科開講科目名	開講	授業形態	開講学年	単位
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	半期	講義	1	2
	教育原理	講義	2	教育の原理	半期	講義	1	2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	半期	講義	1	2
	社会福祉	講義	2	社会福祉	半期	講義	1	2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	半期	講義	1・2	2
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	半期	講義	2・3	2
	保育者論	講義	2	教職論	半期	講義	1	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	発達と学習	半期	講義	1	2
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	半期	講義	2	2
	子どもの理解と援助	演習	1	幼児理解の理論と方法	半期	演習	2	2
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	半期	講義	1	2
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養Ⅰ	半期	演習	2	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程論（幼）	半期	講義	2	2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	半期	演習	2・3	2
	保育内容の理解と方法	演習	4	幼児と環境	半期	演習	2	2
				幼児と表現	半期	演習	2	2
	保育内容演習	演習	5	保育内容（健康）	半期	演習	3	2
				保育内容（人間関係）	半期	演習	3	2
				保育内容（環境）	半期	演習	2	2
				保育内容（言葉）	半期	演習	2	2
	保育内容（表現）	半期	演習	2	2			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	半期	講義	2	2
乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	半期	演習	2	2	
子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	半期	演習	1	2	

	障害児保育	演習	2	障害児保育 I	半期	演習	2	2
	社会的養護 II	演習	1	社会的養護 II	半期	演習	2・3	2
	子育て支援	演習	1	子育て支援	半期	演習	3・4	2

表 B は次頁へ続く

告示による新科目				本学で開講する科目				
系列	新科目	授業形態	設置単位数	子ども支援学科開講科目名	開講	授業形態	開講学年	単位
保育実習	保育実習 I	実習	4	保育実習 I (保育所)	半期	実習	3	2
				保育実習 I (施設)	半期	実習	3	2
	保育実習指導 I	演習	2	保育実習指導 I A	半期	演習	2	2
保育実習指導 I B				半期	演習	3	2	
総合演習	保育実践演習	演習	2	教職実践演習	半期	演習	4	2
最低修得単位数 51 単位				合計必修単位数 62 単位				

表 C 選択必修科目

告示による教科目				本学で開講する科目						
系列	新科目	授業形態	設置単位数	子ども支援学科開講科目名	開講	授業形態	開講学年	単位	履修方法	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単位以上	幼児教育史	半期	講義	3・4	2	6 単位以上	
				子育て支援システム論	半期	講義	3・4	2		
				教育相談	半期	講義	3・4	2		
心の科学				半期	講義	1	2			
カウンセリング概論				半期	講義	2・3	2			
臨床発達心理				半期	講義	3・4	2			
子どもの食と栄養 II				半期	演習	3	2			
保育方法論				半期	講義	3	2			
障害児保育 II				半期	演習	2	2			
保育内容研究				半期	講義	3・4	2			
保育の内容・方法に関する科目	リトミック			リトミック	半期	実技	2	1		
保育実習	保育実習 II 又は保育実習 III	実習	2 単位	保育実習 II (保育所)	半期	実習	3	2	2 単位 選択必修	
				保育実習 III (施設)	半期	実習	3	2		
	保育実習指導 II 又は保育実習指導 III	演習	1 単位		保育実習指導 II (事前指導)	半期	演習	3	2	2 単位 選択必修
					保育実習指導 II (事後指導)	半期	演習	4		
					保育実習指導 III (事前指導)	半期	演習	3	2	
					保育実習指導 III (事後指導)	半期	演習	4		
最低修得単位数 9 単位 (保育実習 3 単位含む)				最低修得単位数 10 単位						

【「保育実習」の単位認定】

「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「保育実習指導ⅠA・ⅠB・Ⅱ・Ⅲ」は、定められた受講条件を満たしていなければ履修できない。「保育実習の履修方法について」を参照し、1年次から計画的に履修すること。

「保育実習ⅡまたはⅢ」の受講にあたっては、保育所での実習を希望する場合、実習・実習指導（事前・事後指導）のすべてで「Ⅱ」を履修すること。また、施設での実習を希望する場合は同じく「Ⅲ」を履修すること。

「保育実習指導ⅠA・B」は、3年次の「保育実習指導ⅠB」終了時に2単位を認定する。したがって、2年次は0単位となり、可否で成績がつく。

「保育実習指導ⅡまたはⅢ（事前指導）」は、4年次の「保育実習指導ⅡまたはⅢ（事後指導）」終了時に2単位を認定する。したがって、3年次は0単位となり、可否で成績がつく。

【「保育実習」の再履修】

「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「保育実習指導ⅠB」「保育実習指導Ⅱ（事後指導）」「保育実習指導Ⅲ（事後指導）」が不合格（D評価）となった場合、本学で再履修することはできない。詳細は、「保育実習指導ⅠA」授業時に説明する。

【「保育実習」の履修方法について】

保育士資格取得に必要な実習

履修が必要な保育実習科目	現場実習期間	単位数	履修方法
保育実習Ⅰ（保育所）	2週間	2	必修
保育実習Ⅰ（施設）	2週間	2	必修
保育実習Ⅱ（保育所）	2週間	2	2単位選択必修
保育実習Ⅲ（施設）	2週間	2	

授業科目の構成及び履修条件

科目名	実施時期	単位	履修（参加）条件
保育実習指導ⅠA	2年後期	-	・「保育原理」「教育の原理」「教職論」「発達と学習」「子ども家庭福祉」のうち、4科目8単位以上を修得していること。
保育実習Ⅰ（保育所）	2年次 2月	2	【1回目】 ・「保育実習指導ⅠA」を履修していること。 ・「乳児保育Ⅰ」「障害児保育Ⅰ」「保育内容総論」のうち2科目4単位以上を修得していること。 【2回目】 ・「保育実習指導ⅠA」に合格していること。
保育実習Ⅰ（施設）	または 3年次 8～9月	2	
保育実習指導ⅠB	3年後期	2	・「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」を履修していること。
保育実習指導Ⅱ（事前指導）	3年後期	-	・「保育実習指導ⅠB」を履修していること。 ・「幼児理解の理論と方法」「保育内容（健康）」「保育内容（人間関係）」「保育内容（環境）」「保育内容（言葉）」「保育内容（表現）」のうち、4科目8単位以上を修得していること。
保育実習Ⅱ（保育所）	3年次 11月	2	・「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習指導Ⅱ（事前指導）」を履修していること。
保育実習指導Ⅱ（事後指導）	4年前期	2	・「保育実習指導Ⅱ（事前指導）」に合格していること。 ・「保育実習Ⅱ」を履修していること。
保育実習指導Ⅲ（事前指導）	3年後期	-	・保育実習指導Ⅱ（事前指導）と同じ。
保育実習Ⅲ（施設）	3年次 11月	2	・「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習指導Ⅲ（事前指導）」を履修していること。
保育実習指導Ⅲ（事後指導）	4年前期	2	・「保育実習指導Ⅲ（事前指導）」に合格していること。 ・「保育実習Ⅲ」を履修していること。

※ 「実施時期」は、保育実習指導の場合は授業が開講される時期、保育実習の場合は実習に行く時期（目安）です。保育実習の成績はそれぞれ次の年次につきます。

保育実習Ⅰ（保育所）：3年後期

保育実習Ⅰ（施設）：3年後期

保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習Ⅲ（施設）：4年後期

※ 保育実習指導Ⅱ（保育所）を希望する学生は、「保育実習指導Ⅱ（事前指導）」「保育実習指導Ⅱ（事後指導）」の履修が必要です。

※ 保育実習指導Ⅲ（施設）を希望する学生は、「保育実習指導Ⅲ（事前指導）」「保育実習指導Ⅲ（事後指導）」の履修が必要です。

※ 条件が不足の場合、卒業時に保育士資格が取得できなくなるので、注意して履修してください。

【保育士資格修得までの主な行事予定】

□ は履修する科目名

*は実習

